

日米欧・三大健康医療国 日本の歩むべき方向性

国民に「健康」と「叡智」と「富」をもたらす
医学・医療のイノベーションを目指して

令和2年6月4日

一般社団法人 Medical Excellence JAPAN 理事長
独立行政法人 医薬品医療機器総合機構 名誉理事長
近藤 達也

日本は既に世界の三大健康医療国である (近藤)



1億2千万人の人口の我が国は国民皆保険の下、保険医の診断により世界最先端の医療がスピード感をもって施されている世界唯一の国家である。



欧州先進国は、同様の最先端医療を享受する機会があり、皆保険先進国でもある。しかし、実際の医療に辿り着くには数か月の時間を要する。スピード感の欠落が著しい。



米国は間違いなく世界最先端の医療が施される国であるが、それは一部の国民に限られ、40%近くの国民が医療費の支払いに窮している。



従って、日本の医療は、既に「**先進性**」、「**公平性**」、「**普遍性**」と「**スピード感**」で世界一といってよい。

- MEJは、日本が**世界三大医療国**であることの自負を持ち、日本の**最先端で、実績のある、迅速な、患者中心の合理的な医療**(Rational Medicine Initiative)を関係各国に普及する。
- **レギュラトリーサイエンス**の手法を用いることで、「**『患者中心』の合理的医療**」を**明確化**し、関係各国と医療の質を向上する**「絶対的価値観」として共通言語化**することを目指す。
- **医療を通じて、各国国民の健康を守る新しい安全保障の国際秩序**を作る。



日本国内の産官医学連携体制のカウンターパートを各国に立ち上げ、両国の医療の補完・発展的展開、そして事業展開を円滑にする仕組みを整備する

Medical Excellence xx 構想

Evolutional Medical Development Goals

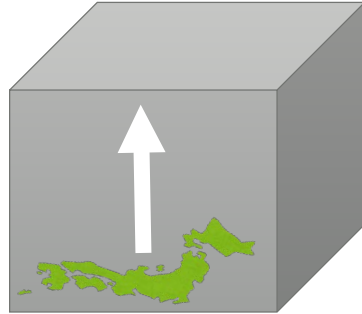
「四次元医療改革研究会」発足へ

レギュラトリーサイエンス視点で統合的な改革を各業界一体となって推進



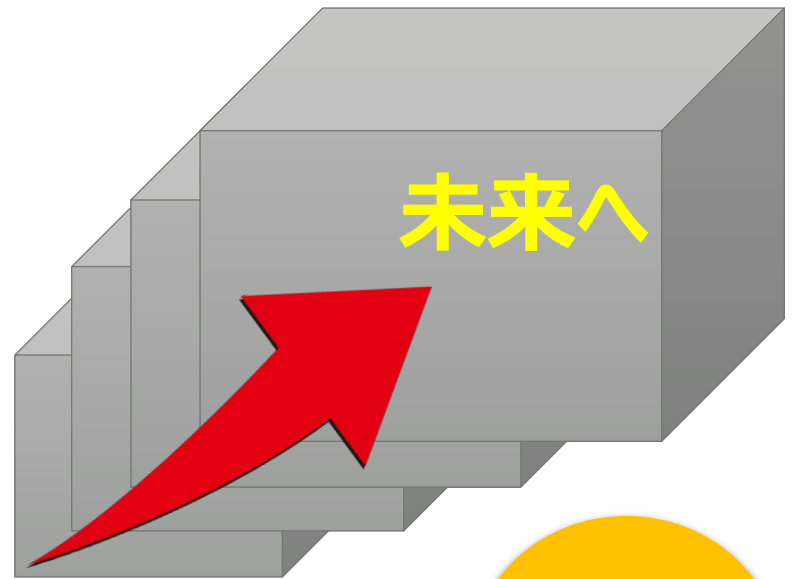
二次元

医療は国内展開に限れば
利害のぶつかり合い
(さまざまなステークホルダー)



三次元

医療の海外展開による
ソリューションの高次化
(内外の医療と社会の改革)



四次元

理想的医療体制を目指して
現時点で推進困難な
次元を超えたソリューション

時間の推移で
実現する改革